

平成26年 2月24日

保護者様
(長子配布)

武雄市立御船が丘小学校
校長 古賀 直喜

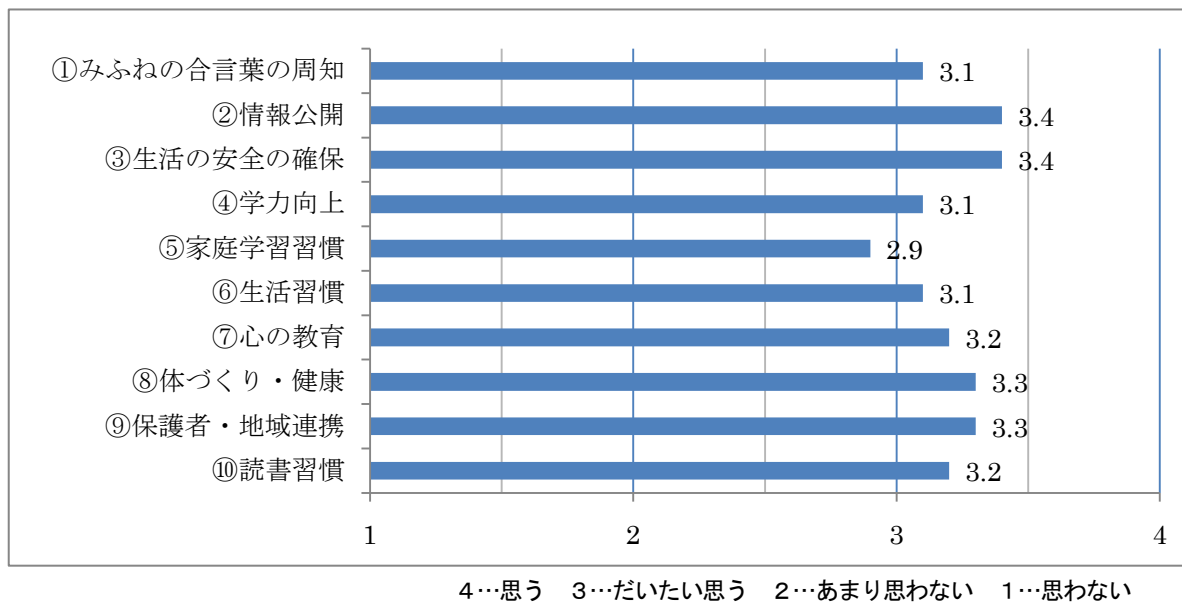
平成25年度「御船が丘 小学校評価保護者用アンケート」等の結果について

春寒の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。

さて、12月に実施した「御船が丘 小学校評価保護者用アンケート」、児童対象の「学校生活に関するアンケート」の集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございますございました。

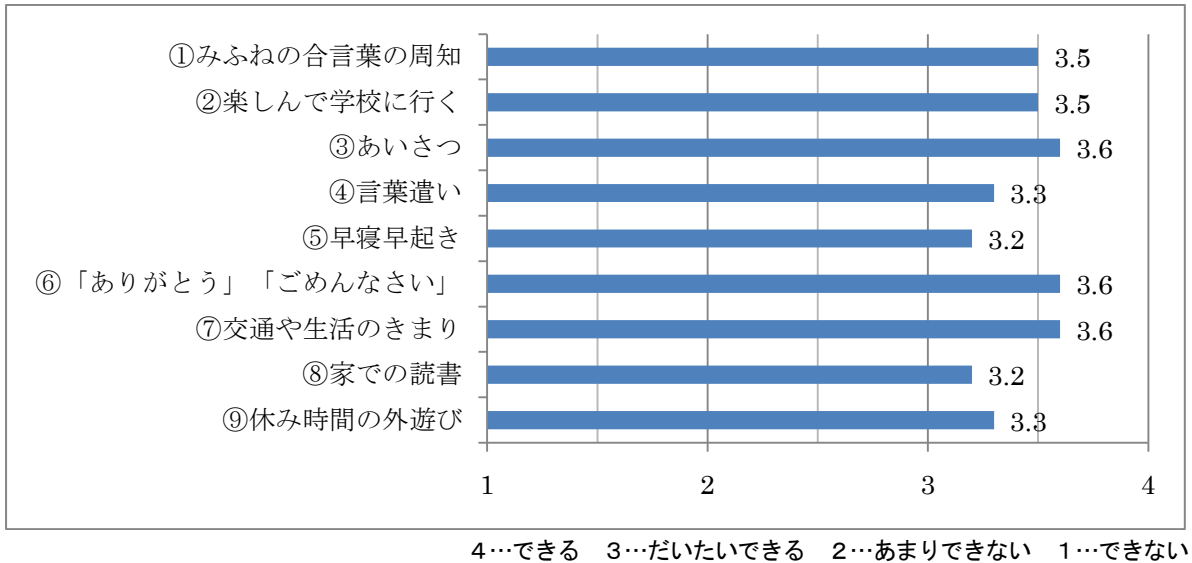
今年度の御船が丘小学校の重点的な取り組みや子ども達の学校や家庭での過ごし方について、全19項目で評価していただきました。平均ポイントが2.5となりますので、ほとんどの項目で「おおむね達成できている（「思う・できる」「だいたい思う・できる」をあわせた割合）」の割合が高い結果となりました。これは、家庭でも学校の取り組みにご理解・ご協力いただいたおかげだと思えます。しかし、アンケート結果を細かく調べてみると次年度に向けての課題も見えてきました。課題に対しての今後の学校の取り組みも報告していますので、ご一読いただければ幸いです。

【御船が丘小 学校評価保護者用アンケートの結果 回収率90.3% (436人/483人)】



学校・学年・学級便りやホームページやブログによる教育活動の情報公開、子ども達の危機管理意識を含めた生活の安全に対して、高い評価をいただきました。今後とも、安心して通える学校づくりを継続していきたいと考えています。また、はなまる連絡帳やみふねサポーター事業による「保護者・地域との連携」に対しても高い評価を受けました。地域や保護者の皆様に支えていただきながら、子ども達の健全育成に取り組んでいきたいと考えています。課題として、家庭での学習習慣の定着が浮き彫りとなりました。今年度、職員の一致協力のもと「家庭学習のすすめ」を全児童に配布いたしました。しかしながら、それ以後の定着状況の把握をおこなわなかったため、このような結果になったようです。来年度は「家庭学習定着週間」等を設け、子ども達の家庭での過ごし方を明らかにしていきたいと考えています。

【学校生活に関するアンケート（児童対象）の結果 回収率 98.3%（643人/654人）】



子ども達が、ほとんどの項目で高い自己評価を示していることは、大変嬉しいことです。特に、「楽しんで学校へ行く」「あいさつ」「交通や生活のきまり」という子どもの安全・安心に関する項目が高いポイントになったことは、今年度本校が取り組んだ「みふね夢プロジェクト」が子ども達の意識に浸透してきたと考えられます。

以上の結果から、来年度本校が重点的に取り組んでいきたい内容は以下の通りです。

1. 「みふねの合い言葉」を確かなものに

「みふねの合い言葉…知恵をはぐくむみふねっ子・心のみがくみふねっ子・体をきたえるみふねっ子」の認知度を高くするために、次のことは継続して取り組んでいきます。

- 「みふねの合い言葉」を実現するための教育活動を系統化し、活動の様子を「学校便り」「ホームページ」等で広報していきます。
- 継続して学校便り、学年・学級便り、家庭への連絡プリント等の一隅に常掲し、懇談会等の機会を捉えて説明をおこないます。

2. 「本当に優しい子」をめざして

現在も、挨拶や心豊かで規律ある子どもの育成に向けて心のアンケートを定期的にとり、その結果を受けて児童一人一人と面談をし、すべての児童と向き合う態勢を整えています。

- 挨拶の仕方（みふね式あいさつ）を具体的に示し、全校で実践できるようにしていくとともに、地域でのあいさつが実践できるよう指導を徹底し、校外指導にも努めます。

3. 「家庭での好ましい生活習慣の定着」に向けて

アンケートから「家庭学習習慣の定着」「早寝早起き」「家庭での読書の定着」など、「家庭での好ましい生活習慣の定着」に関する項目がややポイントが低かったようです。学校での学習に、家庭での過ごし方が大きく影響します。そのことを踏まえ、学校と家庭・地域が連携を図りながら、子ども達の生活習慣の定着を考えなければなりません。

- 「家読の日」や「リレーうちどく」を通して、読書を通した親子の会話の時間を確保してもらうように働きかけます。
- 今年度配布した「家庭学習すすめ」の活用をすすめ、家庭と連携しながら目標に向かって取り組んでいくようにします。

(裏面に保護者からの自由記述)

保護者の皆さんに、御船が丘小学校をよりよくするためのご意見を求めましたところ、次のような意見をいただいております。ありがとうございます。その一部を紹介し、今後の学校づくりや教育活動にできることから取り組んでいきたいと思っております。今後ともご協力の程、よろしくお願ひします。なお、保護者の皆さんからのご意見は、ホームページには詳しく載せていますのでそちらもご覧ください。

【保護者からの自由記述】

ノーテレビ	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーテレビデーを少し増やしてほしい。 ・ノーテレビデーが基本1日はわかるが、日曜日や祭日等に、不規則に変更があるのがわかりづらい。1日と決めてあるのなら、曜日など関係なく実施してほしい。
家庭学習	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の宿題が多いと感じる時があります。帰宅後も宿題を済ませるために食事が遅くなり、お風呂、寝る時間もずれ込みます。学童で、自分でできる分はしてきてくれ助かりますが、一緒にするものや力尽きて家でする時は計1時間はかかっているようです。週末に出していただくと、少しゆとりが持てそうな気がします。自主勉強のやり方も難しいようです。 ・自主学習や読書、生活習慣等1年生から身につけてきて、とても嬉しく思っています。高学年になるといじめなども気になります。これからも心の教育もよろしくお願い致します。 ・宿題が多いなあと思うことがあり、習い事がある日は夜遅くまでかかる日があります。最近は宿題+自主学習なので量が多く、自主学習の自主的に勉強するという目的よりも絶対にしないといけないという負担にかわっているようです。楽しんでできる勉強になってくれたらもっといいのになあと思います。
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、体罰アンケートはなぜ記名式なのでしょう？記名の場合、どこまで本音を書けるか不明です。また、今回のように2つのアンケートを一緒に用紙でおこなうのはいかがなものなのでしょうか？
教師環境	<ul style="list-style-type: none"> ・よい先生と環境に恵まれ、学校生活を楽しめているようで感謝しております。先日参加させていただいた「いじめゼロフォーラム」では、子ども達の素直な発言とすばらしい歌に大変感銘を受けました。子どもが、どのように学校生活を送っているのか、とても興味があるので、授業参観以外にも、様々な行事に参加できたら、会話も増えますし、親も一緒にもっと充実した6年間を送れるんだろうなと思います。 ・確かな学力ということでいろいろな取組を生徒のためにされていて大変嬉しく思います。担任の先生は毎日忙しいでしょうが、宿題点検を毎日行ったり、道徳で使った親からのメッセージをラミネートしてくださり、親として、子どもを大切にしてくださっていることが伝わります。授業中の態度で、友達や先生が話をしている時は、「集中して聞く」ことも、人を大切にしていることだと思ひ、学力の定着にもつながると思ひます。家庭でも、子どもに伝えていきたいと思ひます。これからもどうぞよろしくお願い致します。 ・学校へ行くのがすごく楽しく、先生・お友達に恵まれ、御船が丘小学校へ通えて、親子共々満足しております。
躰・モラル	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室から借りてくる本が傷みがひどい時があります。修理もされていません。本の扱い方や、痛んでも修理して大切に使うことも学んでほしいです。 ・近年、モラルの低下が激しくなっています。近所の子ども達がうちの庭にまで入ってきて探検的な遊びをしたりして、子どもに注意しても改善しません。不在時に、勝手に敷地内を荒らされ、お菓子のごみを捨てられたり困っています。家の方をお願いしても変わりません。学校でもそういった社会的なルールやモラルをもっと指導していただけたらと思ひます。 ・朝の交通指導の時に感じるのですが、こちらからあいさつをしても返さない、返しても元気がない。家・地域・学校が一体とならなければいけないが…。学校ですれ違っても、子どもらしい元気をあまり感じない。 ・ unnecessary 児童の送迎がいまだに多い事を残念におもう。(交通マナーを含め) 子ども達の頑張り、先生方の熱意に応える意味でも、保護者のモラルがあがるように自覚したい。
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の関わる機会が増えたらと思ひます。(例えばお年寄りの方で1人暮らしの方へ学校での取り組みや子ども達からのメッセージを添えた年賀状などの交流。通学時に歩道のゴミ拾いを行う。子ども達ができそうな清掃活動。それらの地域活動を各地区ごとに1～6年生まで含めて集会所にて住民の方へ報告し、また、住民の方との意見交流等…) 最近では、各地区ごとの子ども達の交流(住民の方との)は増えたような気はしていますが、なかなか参加できない方もいらっしゃる感じがします。学校の取り組みの一環として、子どもたちと地域の方との結びつきが強まればと思ひます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に教育に取り組まれているところで開かれた学校教育を感じます。年配の方達から学ぶことは本当に大切だと思います。 ・おじいちゃん、おばあちゃんたちの朝夕の通学指導に、すごく感謝しています。これからもお願いします。
登下校	<ul style="list-style-type: none"> ・集団登校がないのに不思議でした。どこでもあるのにどうしてこの学校はと思いました。1年に入学して誰も兄弟がいない方は3カ月は心配だと思います。少子化時代には特に必要だと思います。 ・危機管理のことを子どもに尋ねました。不審者については「体育館に逃げる」、下校中は？「…」と回答、また、歩道・自転車道、車道の区別がよくわからないようです。12月1日より道路交通法が改正されています。大人も知らない人がいるかも？子どもたちの安全のためにも、ぜひ、皆の前で指導があったらと思います。色が区別された自転車があったらいいですね。ご指導よろしくお願いします。 ・登下校中に低学年の子が困っていたり、ケンカしたりしていれば、近くにいる高学年の子が声を掛けてくれる姿を見かけたりします。学校生活での他学年とのかかわりが生かしていることだと思うので、御船っ子はとってもステキだと思います。
情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・はなまる連絡帳やフェイスブック（ホームページ）を通じて学校の情報を得る機会が多く、子どもが話してくれない情報を得ることができるので助かっています。今後もぜひ続けてほしいと思います。 ・ホームページ等、頑張られていると思います。「はなまる連絡帳」の情報提供もありがたいです。
読書	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーうちどくでは、親子で本を読むきっかけになってよい事だと思います。 ・家読は大切なのはわかりますが、本当に時間の余裕や心の余裕がないとなかなか一緒にできません。 ・リレーうちどくは、親子で本に触れ合う時間がとれて良いです。
いじめ	<ul style="list-style-type: none"> ・12月5日の「いじめゼロフォーラム」での話を学校から帰って子どもの方から話をしてくれました。「やさしさ」や「思いやり」の心の大切さ、上級生の体験談、子ども達自身が考えて取り組むのはとてもよい事だと思います。これからも心の教育でいろんなことを学んで欲しいと思います。
バザー	<ul style="list-style-type: none"> ・バザー不用品回収について、今年は例年より少なかったのか再度呼びかけがありました。カタログで選ぶ贈り物が増えたり、毎年バザーで出したりで、不用品が減っていていいことにつながってきたからかもしれません。ここを増やすことはできないかもしれません。幼稚園で、カレー材料、豚汁材料等を家庭から何か1つ（野菜・ルー・米）を持ち寄って、調理して食べたりしました。バザーの1品として売ることでもできるのではないのでしょうか？